



ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター開設記念シンポジウムを開催

「貧困のない社会の建設を目指して」 ーソーシャル・ビジネスの視点から考えるー

概要

九州大学は、ムハマド・ユヌス博士（グラミン銀行創設者、ノーベル平和賞（2006年）、福岡アジア文化賞大賞（2001年）受賞者、九州大学栄誉教授）の活動並びに博士が提唱する「ソーシャルビジネス」に賛同された椎木正和氏からの多額の寄付金を基に、「ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター」を平成23年10月1日付けで設立する運びとなりました。

本研究センターの開設を記念し、シンポジウムを平成23年10月14日（金）、九州大学医学部百年記念講堂で開催します。

九州大学 ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター開設記念シンポジウム 概要

■趣旨

平成23年3月11日、日本は、1000年に一度とも言われる未曾有の災害にみまわれました。それ以降に起こった（今もまだ続いている）様々なできごとは、被災地の方々のみならず日本人すべてに大きな問いかけを発しているように思われます。それは、私たちの生き方そのものについての問いかけでもあります。

経済発展のみを目的としたグローバリゼーションは、世界的な規模で地域経済、共同体や伝統の崩壊を引き起こし、途上国における貧困、紛争、環境破壊はもとより、日本を含めた先進国においても、格差社会などの問題を生み出してきました。モノ・カネを尺度とした目先の幸福を追求する価値観は、もはや限界にきているのではないのでしょうか？

今回のシンポジウムでは、50年前にスリランカで始まり、現在では、スリランカ国内の3分の2の村落社会に浸透しているサルボダヤ・シュラマダナ運動（「サルボダヤ」とは、すべての人の目覚め、「シュラマダナ」は、労働の分かち合いを意味する）の創始者で、スリランカでリトル・ガンジーと呼ばれているアリアラトネ博士をお招きし、持続可能な共生社会を作るためにサルボダヤ運動が50年にわたって実践してきた開発哲学についてご講演いただきます。またパネル討議では、モハマド・ユヌス博士が提唱するソーシャル・ビジネスの振興・普及に関係する様々なステイク・ホルダーを交えて、私たち一人ひとりが、「もうひとつの生き方」を歩み出すための新しい価値観を共有したいと思います。

■日時：2011年10月14日（金） 13：30－17：00

■会場：九州大学医学部百年記念講堂大ホール（福岡市東区馬出3-1-1）
<http://www.kyushu-u.ac.jp/access/map/hospital/hospital.html>（11番）

■内容

- | | | |
|-------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 13：30－14：00 | 開会挨拶 | 安浦寛人（ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター長、九州大学 理事・副学長） |
| | 感謝状贈呈 | 椎木正和氏 |
| | ビデオメッセージ | （ムハマド・ユヌス博士） |
| 14：00－14：45 | 基調講演 | A. T. アリアラトネ博士（スリランカ・サルボダヤ運動創始者）
「すべての人が等しく生きれる社会とは？」
ーサルボダヤ運動50年からのメッセージー |
| 14：45－15：00 | 休憩 | |
| 15：00－16：30 | パネルディスカッション | |

<パネリスト>

- ニータ・アリアラトネ 氏 (スリランカ政府女性自支援センター副代表)
- 福山 哲郎氏 (元内閣官房副長官、参議院議員)
- 松田 一也氏 (九州経済産業局 地域経済課長)
- 神崎 邦子氏 (だんだんボックス実行委員会 代表)
- 岡田 昌治 (九州大学 教授/グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学 エグゼクティブ・ディレクター)

<コメンテーター>

A.T.アリアラトネ 博士

<コーディネーター>

山下 邦明 (九州大学大学院言語文化研究院 教授)

16:30 会場との質疑応答

17:00 終了

■ 交流会 (17:20-19:30) 九州大学医学部百年記念講堂 中ホール

※参加費は無料です。

■ 主催 九州大学 ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター

■ 参考:九州大学のソーシャル・ビジネスへの取り組み

九州大学は、平成22年3月に、グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学(GCL@九大)を設立、また、平成22年12月には一般財団法人グラミン・テクノロジー・ラボの設立に参画するなどユヌス博士が提唱するソーシャル・ビジネスを先導・推進しています。

また、平成22年7月には、GCL@九大のコーディネートでユヌス博士を日本へ招聘し国内にて数々のシンポジウムを企画。福岡市で開催したシンポジウムでは福岡市とともに共同宣言「ソーシャル・ビジネス・ハブ・イン・アジア」を発表し、以後福岡をアジアにおけるソーシャル・ビジネスの拠点にするべく活動しています。

本年7月には、「ソーシャル・ビジネス・フォーラム・アジア・イン福岡2011」を開催し、ユヌス博士をはじめ国内外のリーダー企業、行政・市民およびNPO/NGOの専門家等150名を招き、「ソーシャル・ビジネスを活用した東日本大震災被災者の自立復興支援」をテーマに中長期的な復興自立支援プロジェクトを検討・構築しました。

今回の「ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター」の開設によって、今までの取り組みを基盤として、国内外の国連機関、高等教育機関、企業、NGO/NPOなどとの連携を強化し、ユヌス博士の提唱するソーシャル・ビジネスを広めていくこととなります。

■ シンポジウムへの申し込み方法

①名前、②会社名・団体名、③所属・役職名、④住所、⑤電話番号、⑥Emailアドレス、⑦交流会(無料)参加、を記入の上、下記あて①~⑦について、下記あて、E-MailまたはFAXにてお申し込みください。

【申し込み・お問い合わせ】

グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学

電話 (092)-642-2744

FAX (092)-642-2747

E-mail: info@gcl.kyushu-u.ac.jp

※講演者に関するお問い合わせ先

言語文化研究院 教授 山下邦明

電話: 092-802-5733

携帯: 090-3418-2528

FAX: 092-802-5733

Mail: yamakuni@flc.kyushu-u.ac.jp